

特定非営利活動法人 ブックスタート 2018年度 事業活動報告

[1] 情報提供事業

各種情報の提供とネットワークの構築

① 市区町村からの問い合わせ・相談対応／資料提供／関係構築

市区町村からの問い合わせや相談に、電話やメールで対応。実施自治体の担当者をサポートするため、ニュースレターや各種資料、刊行物を無償で提供した。NPO ブックスタートを通じた非営利の仕組みを利用せずに活動を実施する自治体や未実施の自治体に対しても、無料資料の一部を提供した。

新規実施自治体向け 資料セット

【DVD】『ブックスタート しあわせひろげる、愛情ことば。』

【書籍】『赤ちゃんに絵本をひらいたら ブックスタートはじまりの10年』、
『「ブックスタートがもたらすもの」に関する研究レポート』、
『絵本は心のへその緒 赤ちゃんに語りかけるということ』、
『講演会シリーズ』記録集、『対談 赤ちゃんに絵本をひらくひととき』

【資料】ニュースレター、広報アイデア集、NPO ブックスタートからの情報提供について、
アドバイスブックレット（見本・解説版）、別冊ハンドブック「障がいのある方への対応を考えるために」、
対象者向け活動紹介シート〔点字・拡大文字版〕〔多言語版〕、無料ポスター（見本）、
著作権やロゴマーク・名称の使用に関する Q&A、資料等追加送付申込書、ロゴマーク使用許可申請書



② ニュースレター 発行

実施自治体には原則 2部ずつ、希望に応じて関係機関分として 3部以上を無料提供。ウェブサイトには、PDFデータを掲載し、閲覧可能。

No	内容
60	・第1特集『赤ちゃんに手渡す絵本～選び方とその観点～』 ・第2特集『どんな広報をしていますか?～各地のアイデア紹介～』 ・事例紹介『行ってきました! 埼玉県鴻巣市』 (2018年4月発行)
61	・特集『母子保健の視点でみるブックスタート～育児支援としての可能性～』 ・PEOPLE 北海道湧別町ボランティア 宮澤道さん『住民だからこそできる活動を』 (2018年6月発行)
62	・第1特集『世界のブックスタート～世界ネットワークの構築に向けて～』 ・第2特集『専門家に聞く 赤ちゃんの視覚のお話と絵本を楽しむためのヒント』 (日本女子大学人間社会学部心理学科 教授 金沢 創さん) ・ほっと PHOTO (2018年9月発行)
63	・特集『家庭訪問で行うブックスタート～育児不安の軽減へ絵本が果たす役割とは～』 ・研修会報告『2018年度ブックスタート研修会 in 三重』 (2019年1月発行)



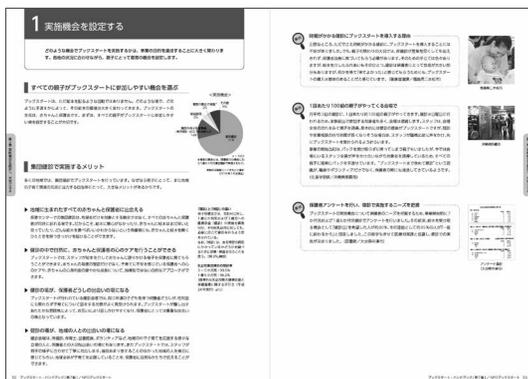
③ ハンドブック改訂

ハンドブックは、ブックスタート実施に役立つ様々な情報を写真や事例とともにまとめた自治体向けの資料。NPO ブックスタートが取材・見学を通して収集した情報をもとに作成した。事業運営を担う自治体職員向けとブックスタートで親子に接するスタッフ向けに分冊し、2018年4月に発行。

①ハンドブック (A4サイズ・80ページ)



- ・印刷部数 4000部
- ・実施及び問い合わせのあった自治体へ無料提供



- 【感想】**
- ・具体例や体験談、写真等が充実していて楽しく見た。
 - ・新任でもベテランでもとても参考になると思う。
 - ・NPOのみなさんの活動に対する活気が伝わってきた。

②スタッフガイド (A5サイズ・32ページ・フルカラー)



- ・印刷部数 1万部
- ・実施自治体へ無料提供
- ・希望に応じてスタッフ人数分を無料で送付



- 【感想】**
- ・現場スタッフにとって、わかりやすいと思った。
 - ・何が課題なのかがよくわかる。
 - ・写真と絵が多くて見やすい。

④ 都道府県への情報提供と関係構築

都道府県（県立図書館・教育委員会・子育て支援・母子保健）の担当者へニュースレター等を送付し、随時問い合わせに対応。「ブックスタート研修会」の開催に際しては、市町村への周知にあたり開催県である三重県の協力を得た。

各地の情報を収集

⑤ ブックスタート実施市区町村に関する情報収集／取材・見学

実施自治体からパック注文時に毎年提出される「実施状況確認シート」により、各地域の情報を収集。必要に応じて個別に担当者へのヒアリングを行ったり、各地域作成の資料の提供を依頼・収集したりした。取材・見学も行い、実践に関する情報を収集した。

集まった情報はNPOブックスタート内で共有し、自治体からの問い合わせ対応時やスタッフブログなどで適宜紹介したほか、ニュースレターの執筆に役立てた。

訪問先 12自治体

北海道根室市／茨城県牛久市／埼玉県三芳町／千葉県鎌ヶ谷市／東京都杉並区／東京都小平市／神奈川県相模原市／愛知県日進市／大阪府熊取町／兵庫県川西市／広島県府中市／香川県三木町

⑥ 自治体担当者による意見交換会の開催

NPO ブックスタートから自治体への情報提供やサポートのさらなる充実を目的に、実施自治体で事務局担当経験のある自治体職員（4市／保健師1名、図書館司書3名）による意見交換会を開催した。NPO ブックスタートの事業や提供資料の内容について意見を求めたほか、事業予算の獲得や保健師に理解を得るためのポイント、ブックスタートの可能性について話し合った。

特別なニーズのある対象者への対応

⑦ 障がいのある対象者への対応

障がいのある赤ちゃんや保護者がブックスタートの対象となる場合に、自治体が対象者のニーズに合わせて適切に対応できるよう、資料や情報の提供、てんやく絵本への交換等のサポートを行った。

⑧ 外国語を母語とする対象者への対応

外国語を母語とする対象者向け資料の提供を通じてサポートを行った。

[2] 研修事業

① 「ブックスタート研修会」開催

三重県にて開催。2005年度からの開催数は28回となった。

ブックスタート研修会 in 三重

2018年11月13日（津市） 後援／三重県・三重県教育委員会
参加者／47名（自治体職員33名、ボランティア・一般14名）

<プログラム>

午前 ブックスタートの今～全国の実践から見えてきたこと～
（NPO ブックスタート）

事例紹介 三重県いなべ市・多気町

午後 ワークショップ「ブックスタートを語りあおう」



午前プログラム



グループでの話し合いの様子



メモしながら話し合い

② 各地の研修会・講演会への職員派遣

新たに事業を立ち上げる地域や実施を検討中の地域、すでに実施している地域からの依頼を受け、職員を派遣。活動に関わる自治体各部門の職員・ボランティアなどに対して、活動に関する情報を直接紹介した。

なお、各地域には東京からの往復交通費の負担を依頼している。しかし、遠方のため交通費全額の負担が難しい場合には、NPO ブックスタートがその費用を一部負担する取り組みを行った。

訪問先 40 (計 43 回) * 交通費を NPO ブックスタートが一部負担した自治体

【北海道】岩内町 (北海道教育庁 後志教育局 主催)
【宮城県】大和町 【山形県】酒田市 * 【福島県】二本松市
【茨城県】土浦市 【栃木県】野木町 【群馬県】前橋市・桐生市・伊勢崎市
【埼玉県】加須市・和光市・新座市・北本市・三郷市・宮代町
【千葉県】柏市 (2 回)・富津市・山武市・九十九里町 【東京都】多摩市
【神奈川県】相模原市 (3 回)・横須賀市・平塚市・茅ヶ崎市・大和市
【福井県】大野市 【岐阜県】東白川村
【静岡県】三島市・富士市・磐田市・御殿場市
【愛知県】安城市 【三重県】東員町 * 【兵庫県】宝塚市・川西市・篠山市
【鳥取県】鳥取市 【広島県】廿日市市

【講演】

- ・本の学校・春講座 2018 「本と読書のいま」(主催: NPO 法人本の学校) 「ブックスタート 17 年のあゆみ」について講演
- ・むすびめの会 * 講演会「外国語を母語とする親子への取り組み」を紹介
* 図書館と多様な文化・言語的背景をもつ人々をむすぶ目的で、図書館の多文化サービスに関心を持つ有志が立ち上げたグループ



鳥取県鳥取市
15 周年イベント



むすびめの会 講演会にて
外国人親子への取り組みを紹介

[3] パック提供事業

① ブックスタート・パックの流通

自治体からの注文に基づき、ブックスタート・パックとして、絵本やアドバイスブックレット、布製バッグを販売した。また要望に応じて、ロゴマーク入りの封筒またはポリ袋を無償で提供。特別なニーズのある対象者向けに、アドバイスブックレットの点字版及び多言語版の提供、てんやく絵本への交換対応を行った。

[4] 広報活動事業

ブックスタートへの理解度や立場に合わせた情報発信

① 各種媒体を通じた情報発信／取材・問い合わせへの対応

ウェブサイト、SNS を通じて話題や情報を発信した。プレスリリースでは、多言語資料や過疎地域での事業開始、研修会開催などの切り口で配信。新聞での紹介につながり、問い合わせが増加した。

国(文部科学省、厚生労働省、内閣府少子化担当)、図書館・保健師や子育て支援関係者、小児科医、出版業界団体などに対しては、定期的な資料送付を通じて情報提供を行った。

② 「絵本は心のへその緒 赤ちゃんに語りかけるということ」発行

「ブックスタート」や「赤ちゃん絵本」に関する松居直氏(児童文学者・NPO ブックスタート会長)の講演や会議における発言をまとめた書籍を発行。実施自治体に1冊ずつ贈呈。全国紙 2 紙(朝日・読売)にて、著者インタビュー記事が掲載された。

『絵本は心のへその緒 赤ちゃんに語りかけるということ』

著者: 松居直
発行: NPO ブックスタート
発売: 日販アイ・ピー・エス

2018 年 10 月 5 日発行 定価: 本体 900 円 + 税
本文 63 ページ 小 B6 判(12 × 18cm) 上製本
ISBN978-4-902077-08-7

初版 4000 部・2019 年 7 月現在 3 刷・累計部数 5700 部



朝日新聞 朝刊 2019.2.18

ブックスタートや関連情報の収集

③ 新聞・雑誌やシンポジウム参加などによる情報収集

ブックスタートや関連情報（赤ちゃん絵本に関する活動、読書推進活動、行政の施策や計画の動きなど）を新聞クリッピングやインターネットなどを通して収集。また、子どもの本に関する講演会や赤ちゃん・子育てに関するシンポジウムへの参加などを通じて専門分野（母子保健、赤ちゃんの発達、絵本、出版など）に関する知識の習得や動向の把握を行った。

講演イベント

④ 講演会の開催

2013年度から開始した講演会シリーズの第6回目を開催した。

「子ども・社会を考える」講演会シリーズ ⑥
『共同養育が人類のスタイル～現代のママたちがツライ科学的な理由～』
明和 政子 氏／京都大学大学院教育学研究家教授（専門：比較認知発達科学）

2019年1月27日（東京・日暮里サニーホール）

参加者／245名（子育て支援、母子保健、保育、図書館などの分野で子どもに関わる行政職員、市民ボランティア、保育士、児童書出版関係者、一般の保護者など）

参加費／無料



⑤ 講演会記録集の発行

第4回目のウェンディ・クーリング氏の講演内容について、記録集を発行。実施自治体及び関係者へ贈呈した。

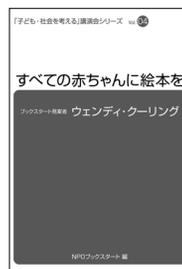
「子ども・社会を考える」講演会シリーズ Vol.4
『すべての赤ちゃんに絵本を』
ブックスタート発案者 ウェンディ・クーリング

NPO ブックスタート 編

2019年1月発行

A5 96ページ／本体600円＋税

発行部数2800部



海外との情報共有 ～ 日本の経験の発信と海外情報の収集

⑥ 海外の活動とのネットワークづくり

イギリスのBooktrust（ブックトラスト）及び5か国（ドイツ、オランダ、ベルギー、カナダ、オーストラリア）の推進団体と今後のグローバルネットワーク構築に関する検討を開始。オンラインミーティングを経て、2018年10月、ベルギー・ブリュッセルで開催されたEURead* 総会にて顔合わせの機会がもたれ、日本から参加した。この欧州出張の機会にイギリスにも立ち寄り、ブックトラストを訪問、情報収集及び共有を行った。

*ヨーロッパ各地で子どもの読書推進に関わる団体が、経験や構想を交換しあうことで共に発展することを目的とした共同事業体。ブックトラストはその主要メンバーであり、また参加団体の多くがブックスタートに取り組んでいる。

欧州出張

◇ EURead 総会 (10月17日～19日/ベルギー・ブリュッセル)

「赤ちゃんに絵本を贈る活動の世界ネットワーク」を、EURead が中心となって作っていくことが正式に決定された。会議では、フィンランドとオランダのブックスタートの取り組みが紹介された。日本からは、18年前に活動を開始し、現在も多くの人々に支えられた全国的な活動になっていることを伝えた。

◇ Booktrust 訪問 (10月22日/イギリス・ロンドン)

現在のイギリスのブックスタート全般について、担当者からレクチャーを受けた。自治体との契約、活動の評価基準、自治体へのアプローチ方法など、絵本選考の過程、広報キャンペーンなどについて話をきくことができた。



EURead 総会の様子



参加者の皆さんと



イギリスのブックスタート・パック

⑦ 韓国シンポジウム参加

韓国の推進団体からの招へいを受け、2018年10月に開催されたシンポジウムに参加。日本の活動について紹介する機会を得た。

韓国シンポジウム

2018 Bookstart International Symposium
2018年10月19日

参加国：韓国、日本、タイ、コロンビア



[5] 研究・調査事業

① 調査研究に関する情報収集

各地域で実施する調査やブックスタートをテーマとした研究に関する情報を収集。

② 保護者向けアンケート調査実施へ向けた準備

2018年度に新たに事業を開始した2自治体での保護者向けアンケート調査実施へ向けて準備を行った。